

除草剤



理研 ソリスト SC

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	使用量 (m ² 当り)		使用方法	*総使用回数
				薬量	希釈水量		
日本芝	—	一年生 雑草	秋期芝生育期 (雑草発生前~ 発生初期)	0.1~0.2 mL	200~300 mL	全面土壤散布	1回
センチピード グラス			センチピードグラス 生育期 (雑草発生前)	0.15~0.3 mL	100~200 mL		
樹木等			雑草発生前			植栽地を除く 樹木等の 周辺地に 全面土壤散布	

(2018年6月末日現在)

製品規格
500mL×4本
®:クミアイ化学工業株の登録商標

除草剤

理研

ソリスト SC

スズメノカタビラ防除に死角なし。



成分及び性状

ピロキサスルホン水和剤

成 分	ピロキサスルホン.....36.3% [3-[5-(ジフルオロメトキシ)-1-メチル-3-(トリフルオロメチル)ピラゾール-4-イルメチルスルホニル]-4,5-ジヒドロ-5,5-ジメチル-1,2-オキサゾール] 界面活性剤、水等.....63.7%
-----	--

性 状 類白色水和性粘稠懸濁液体

人畜・水産動植物に対する安全性

人畜毒性

普通物（毒物・劇物に該当しないものを指していう通称）	
急性経口毒性試験	LD ₅₀ : >2000mg/kg
急性経皮毒性試験	LD ₅₀ : >2000mg/kg

水産動植物に対する影響

普通物（毒物・劇物に該当しないものを指していう通称）	
コイ	LD ₅₀ : >1000mg/l (96h)
オオミジンコ	EC ₅₀ : 200mg/l (48h)
藻類	ErC ₅₀ : 0.0017mg/l (72h)

効果・薬害等の注意

- 本剤は雑草の発生前～発生初期に有効なので、時期を失しないように散布してください。(効果)
- 砂土、水はけの良い土壤では使用を避け、十分に活着した日本芝に使用してください。(薬害)
- 野菜等の有用作物に飛散しないよう十分に注意し、水田への利用が考えられる用水路等に本剤の流入が想定される場所や、農作物の付近では使用しないでください。(薬害)
- ベントグラスなど寒地型芝草周辺に散布する際は飛散や流れ込みのないよう十分に注意してください。(薬害)
- 激しい降雨が予想されるときは使用を避けてください。(効果)
- 容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- 適用作物、使用量、使用時期、使用方法を守って下さい。特に初めて使用者の場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。(弱い刺激性)
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。
- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。(藻類)
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

★ラベルをよく読む。★記載以外には使用しない。★小児の手の届く所には置かない。★空容器は圃場などに放置せず適切に処理する。

★直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した所に密封して保管する。

緑をつくり、育て、守る
製造販売元 株式会社 理研グリーン

〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F

TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 http://www.rikengreen.co.jp

札幌駐在 TEL.011(595)7401 FAX.011(595)7402
仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505
東京支店 TEL.03(6802)8943 FAX.03(6802)8953
静岡支店 TEL.054(283)0691 FAX.054(291)4261
名古屋支店 TEL.052(218)3060 FAX.052(218)3061

(株)理研グリーン・パートナーショップ

N 03

(製品規格:500mL×4本)

®:クミアイ化学工業株の登録商標

緑をつくり、育て、守る
製造販売元 株式会社 理研グリーン

AXEEV™



理研 ソリスト®SC

鋭い切れ味、孤高の除草力

4大特長

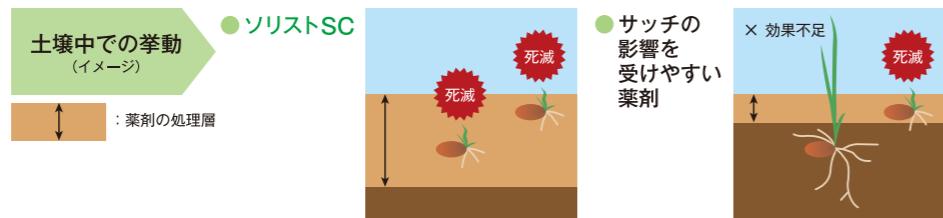
スズメノカタビラに対して安定した効果を発揮する理由

1 スズメノカタビラに対する処理適期幅が広い(発生前~発生初期)

夏期から発生するスズメノカタビラにも有効。

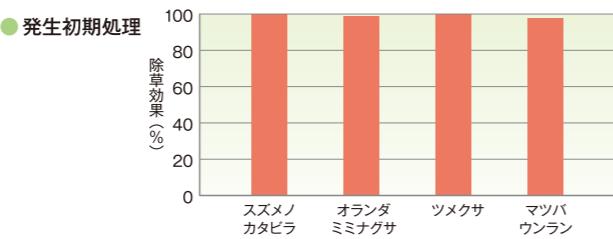
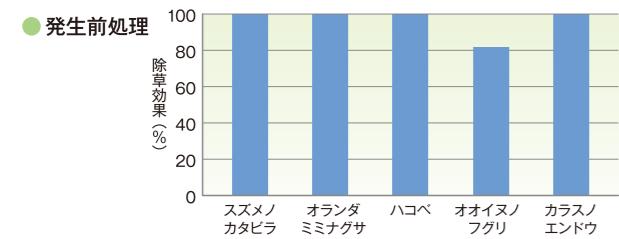
2 適度な厚さの処理層を形成

サツチ層の
奥から発生する
スズメノカタビラ
も防除。



3 殺草スペクトラムが広い

イネ科だけでなく広葉雑草も同時に防除が可能。



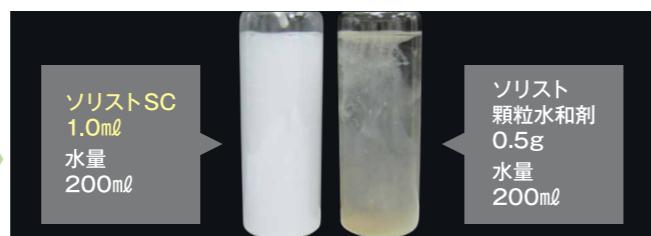
雑草発生前処理試験 概要 平成26年度（公財）日本植物調節剤研究協会
実施機関：（公財）日本植物調節剤研究協会 茨城県内圃場
芝品種名：コウライシバ 処理日：9月26日 調査日：3月9日（処理164日後）
供試薬剤：ソリストSC 0.1mL/m²（水量200mL/m²）
試験結果：対象雑草に発生防止効果が認められ、除草効果は高かった。
コウライシバに対して薬害は認められなかった。

雑草発生初期処理試験 概要 平成26年度（公財）日本植物調節剤研究協会
実施機関：（一財）西日本グリーン研究所 福岡県内圃場
芝品種名：ノシバ 処理日：11月1日 調査日：2月19日（処理110日後）
供試薬剤：ソリストSC 0.1mL/m²（水量200mL/m²）
試験結果：対象雑草に対し雑草発生初期で極めて高い防除効果を示し、
ノシバに対する影響も認められなかった。

4 調製作業が容易なフロアブル

粉立ちなどがない液状タイプ。
速やかに薬剤が分散。

ソリストSCは水に投入後、
速やかに薬剤が分散している
(写真は無攪拌の状態)



スズメノカタビラに対する効果

試験場所：ゴルフ場様管理圃場 千葉県内

芝の種類：コウライシバ

処理日：2017年10月4日（スズメノカタビラ発生前）

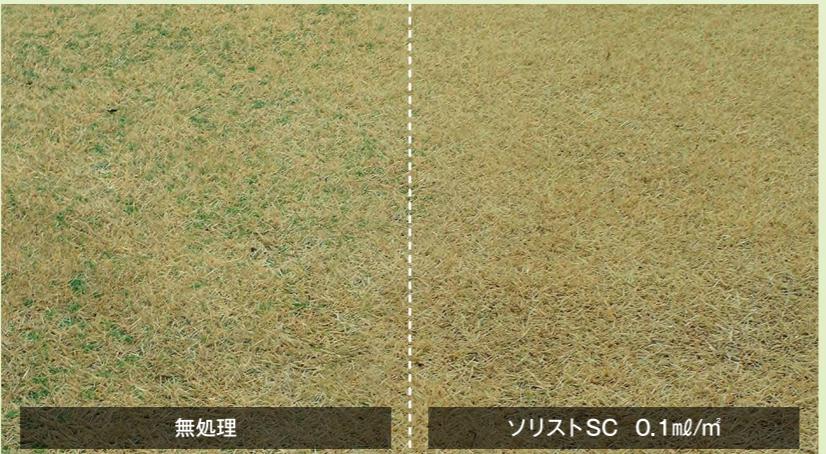
調査日：2018年3月8日（処理155日後）

供試薬剤：ソリストSC 0.1mL/m²（水量200mL/m²）

処理方法：動力噴霧器にて散布

試験結果：対象のスズメノカタビラの発生前処理で、

155日後の調査時においても高い防除効果を示し、
コウライシバに対する影響は認められなかった。



新規系統
イソキサゾリン系

吸収部位は植物の基部および根部で、クチクラ等の構成成分である超長鎖脂肪酸を合成する酵素(VLCFAE)を阻害し、植物を枯死に至らしめます。本剤は従来のVLCFAE阻害剤よりも低濃度で雑草に対して高活性を示し、また残効期間が長い特長があります。

殺草スペクトラム（社内試験結果より）

科名	草種名	発生前			発生初期		
		0.1mL/m ²	0.15mL/m ²	0.2mL/m ²	0.1mL/m ²	0.15mL/m ²	0.2mL/m ²
イネ科	スズメノカタビラ	●	●	●	●	●	●
	ハルガヤ*	●	●	●	●	●	●
キク科	オオアレチノギク	●	●	●	○	●	●
	ヒメムカシヨモギ	●	●	●	○	●	●
マメ科	ノボロギク	○	○	○	○	○	●
	カラスノエンドウ	●	●	●	●	●	●
シソ科	スズメノエンドウ	●	●	●	●	●	●
	コメツブツメクサ	●	●	●	○	○	●
アブラナ科	ホトケノザ	●	●	●	○	●	●
	ヒメオドリコソウ	○	●	●	○	●	●
ナデシコ科	タネツケバナ	○	●	●	○	○	●
	ナズナ	●	●	●	○	●	●
オランダミミナグサ	ツメクサ	●	●	●	○	●	●
	ハコベ	●	●	●	○	●	●
オオバコ科	オランダミミナグサ	●	●	●	●	●	●
	オオイヌノフグリ	○	○	○	○	○	○
	タチイヌノフグリ	○	○	●	○	○	●



*多年生雜草（適用外草種 種子発生雜草に対する参考データ）

※雜草生育ステージが発生初期以降の場合は、茎葉処理剤を組み合わせて下さい。

除草効果：● 極大（100%） ○ 極大（99~90%）

○ 大（89~80%） □ 中（79~60%）

△ 小（59~40%） × 無（39%以下）

注意 寒地型芝草に対して強い影響を与えるので、散布の際は周辺の寒地型芝草に十分配慮してください。特にグリーンやティグラウンド周辺では、ドリフトや流れ込みによる薬害が発生する可能性があります。

ベントグリーンから50m程度離して
散布してください。

表示方法：-（影響なし）
土（軽微）～+++（強）

暖地型芝草に対する影響

対象草種	使用時期			
	8月	9月	10月	11月以降
日本芝	+	—	—	—
パミューダグラス*	++	±～+	—	萌芽遅延 発生の場合有り

*パミューダグラスが混在している場合は使用時期と葉量の調整を行ってください。

※散布時期は地域や気象条件によって異なります。

緑地管理場面での雑草に対する効果

実施機関：（一財）関西グリーン研究所 兵庫県内

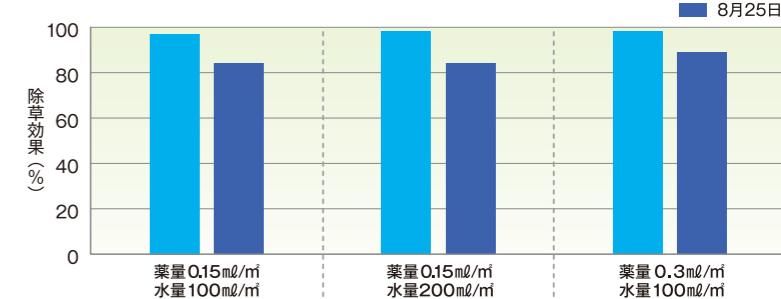
処理日：2017年4月23日 雜草発生前

調査日：2017年6月16日（処理54日後）、
2017年8月25日（処理124日後）

供試薬剤：ソリストSC

処理方法：電池式噴霧器にて散布

試験結果：一年生雜草
(メヒシバ、エノコログサ、ヤハズソウ、オオアレチノギク)
の発生前処理で各薬量とも高い除草効果を示した。



センチピードグラスに対する影響

試験場所：（株）理研グリーン グリーン研究所 静岡県内

処理日：2017年3月8日（センチピードグラス萌芽期）

調査日：2017年7月13日（処理127日後）

供試薬剤：ソリストSC

処理方法：加圧式噴霧器にて散布

試験結果：一年生雑草の発生前処理で効果が有り、
センチピードグラス萌芽期処理で登録の倍量区
についても生育への影響は認められなかった。

